

## 浜通り南相馬ロボット振興ビジョン（素案） パブリックコメントの実施結果について

- 1 実施期間 平成29年2月15日（水）～3月6日（月）
- 2 意見件数 2名3件
- 3 概要 市民の方から、市立総合病院へのロボットの導入、市民ロボットアイデアコンテストの開催などについてのご意見を頂きました。  
浜通り南相馬ロボット振興ビジョンは、ロボットのまち南相馬の実現に向けた共通の姿を市民とともに描くことを目的に、7つの柱として方向性を示したビジョンとなっております。  
頂いたご意見は、今後の具体的な取り組みに関するご意見であったことから、今後ロボット政策を推進していく中で、ご意見を反映できるよう検討を進めてまいります。  
このため、本素案の本文は修正を行わず、原案のとおりとします。  
頂いたご意見と市の考え方については、以下に記載します。

### 頂いたご意見

浜通り南相馬の目指すべき姿 6 . 世界一のロボットの实証・チャレンジが  
しやすく、ロボットが日常に溶け込んだまち 浜通り南相馬 について  
南相馬市立総合病院にロボットスーツHALの導入を提案いたします。  
HALとは脳からの生体電位信号を検出し、装着者の動作をアシストするサイ  
ボーグ型ロボットです。  
今年2月に脳卒中センターもオープンしました。脳卒中ばかりでなく、事故  
や神経疾患の患者のリハビリに効果があることが実証されています。それによ  
り早期の社会復帰が実現できることは、地域の復興にも役立つものと思われま  
す。  
地域の核となる総合病院として、是非、ご検討ください。

### 【市の考え方】

ご意見にありましたロボットのほか、近年、医療や介護の現場において活用できるロボットの開発等が進んできており、医療や福祉の現場におけるロボットの活用について検討を進めていく必要があると考えております。

頂いたご意見は今後のロボットの活用についての内容ですので、ビジョンの本文の修正は行いませんが、南相馬市立総合病院と連携し、ロボット導入の検討をしたいと思えます。

### 頂いたご意見

例えば、南相馬市が抱えている問題の1つである高齢化を解決するためのロボットのアイデアを募集し、選考委員会を開き、優秀なアイデアを採択し、それを本構想に参画する企業に提案し、実用化するという「市民ロボットアイデアコンテスト（仮称）」を開催してはいかがでしょうか。

かつて、江戸時代の中期に、相馬地方が天明の飢饉という大災害に見舞われ、藩が存亡の危機に面していた時、中村藩当主は報徳仕法の実践として、開墾などを村同士で競わせ、最も活躍した人物を、村人の投票で選び、その人物に褒美を与えるという、今で云う開墾コンテストのようなものを実施したそうです。これによって、藩主は、領民のモチベーションを高め、大災害を領民自らの努力によって乗り切ることができたそうです。

ただでさえ、ロボットあるいはドローンといった最先端のものに対して深い理解が無い土地において、強引にそうした政策を進めた場合、結局は市民の協力が不足し、その結果、補助金を受けた事業者だけが潤い、市民一人一人のためにならないという結果になるのでは、と私たちは危惧しております。現在の南相馬市が抱える高齢化にまつわる問題など、高齢者の生活をサポートする「市民ロボットアイデアコンテスト」を実施してください。

### 【市の考え方】

ロボットの製造自体は高度な技術が必要であることから、ロボットアイデアコンテストの結果を実現できるような形での開催について、今後検討を進めたいと思えます。

また、ご指摘のとおり、市が強引に政策を進めた場合、市民不在のまちづくりとなってしまうことから、市民の皆様はロボットのまちづくりについての情報提供をしていくとともに、市民の皆様は参画していただけるような施策を進めてまいります。

## 頂いたご意見

今回の素案は、ロボット産業の推進と振興が、東日本大震災の被災地の復興や、国が認識している人口減少や高齢化の問題を同時に解決できる可能性を秘めていると考えて作られたのでしょうか。そうだとすると、新たな産業の拠点整備がなされるのですから、そうしたものが、地元子どもたちが、将来の夢を描くために役立つなければなりません。現時点ではまだ、具体的な案を提案できる状態ではございませんが、各校にペッパー君が配備され、ロボットをより身近に感じられる状況が整備されつつある今、今後の教育指針の中に、「ロボットとは何だろう?」「なぜロボットが必要なのか?」「人々の生活をよくするにはどのようなロボットが必要か」、そうした課題を子どもたちが、自らの頭で考えるとともに、自分たちで南相馬市の将来をよりよくしたいという思いを持ってもらいたいと思います。

### 【市の考え方】

平成29年度には、市内の小・中学校において、ソフトバンク株式会社のロボット「Pepper」を使用したプログラミング授業の開始を検討しておりますが、これから人とロボットの共存がより一層進んでいく社会において、ご意見にありましたとおり、本市の子ども達には、ロボットについて考え、また、ロボットを通じて社会を考える力を涵養していく必要があると考えております。

また、現在、市内の各小学校でドローン教室を開催しておりますが、今後も市教育委員会と連携し、本ビジョンの浜通り南相馬の目指す姿として掲げております「日本の競争力の源泉・ロボット教育先進のまち 浜通り南相馬」の実現に努めていく考えです。